|  |  |
| --- | --- |
| 🏁**単元目標　　できることを伝え合おう。** | 【略語】MPD = My Picture Dictionary |

| **時**  **数** | **めあて・到達目標・**  **主な表現** | **Warm-up**  **(チャンツ・歌・Small Talk・前時の復習など)** | | **活動1 (導入)** | **活動2** | **活動3** | **活動4 or予備活動** |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 1 | めあて だれがどのようなことをできるか聞き取ろう。  到達目標  (5年生) canの文を含む会話を聞いて、内容を理解することができる。  (6年生) canの文を含む会話を聞いて意味を思い出し、自分ができることを伝えることができる。  主な表現 I can .... | 【8分】p.18 Let’s Chant ①・②、p.21 Small Talk | | 【10分】p.28~29 Listen and Think | 【7分】p.30 Let’s Watch | 【8分】p.28 Let’s Chant ① | 【12分】p.36 Sounds and Letters |
|  | ・復習として、前単元のLet’s Chant ①・②をそれぞれ1～2回歌う。  ・指導者は、各児童と以下のような会話をする。  T: When is your birthday, S1?  S1: My birthday is December 2nd.  T: What do you want for your birthday?  S1: I want a new video game. | | ・p.28~29のイラストを見せ、場面や対話内容を推測させる  ・映像を視聴し、場面の順に番号を○に記入させる。  ・どこで、誰が、何をしているかなど、各場面の概要を確認する (内容が大まかに分かればよい)。  ・単元目標と本時のめあてを確認する。 | ・映像を再生し、どんなことを話しているか5年生にたずねる (6年生には、5年生がcanの意味に気づくまで待つように指示する)。  ・全員でcanの意味を確認する。  ・本時の目標を確認する。  ※canの意味に気づかない児童がいる場合は、指導者ができることをジェスチャー付きで言うなど、ヒントを与える。 | 1回目 (聞く)  2回目 (口パク)  3回目 (声に出して言う)  ※6年生には自分ができることを I can .... に続けて言うように指導し、5年生には6年生が何を言ったか考えさせる。 | ・「形のにている大文字」について、どこが似ているかを考えさせる。  ・空中に書かせる。  ・教科書に書かせる (書く時は、必ず文字の名前を言いながら書くように指導する)。  ・同様の手順で、p.36の4つのコーナーを指導する。 |
| 2 | めあて ①お互いのことをよく知るために、できることをたずね合おう。②世界の人と理解し合うために、ジェスチャーなどについて考えよう。  到達目標  (5年生) Can you ...? の文を含む会話を聞いて、内容を理解することができる。  (6年生) Can you ...? の意味を思い出し、できることについて質問に答えることができる。  主な表現 Can you ...? | 【8分】挨拶と、p.28 Let’s Chant ① | | 【5分】p.31 Small Talk | 【10分】p.28 Let’s Chant ② | 【10分】p.34~35 Over the Horizon | 【12分】p.37 Sounds and Letters |
|  | ・児童どうしでHow are you? と挨拶させる。  ・チャンツを通して前時の表現を思い出させる。 | | ・5年生にCan you ...? の意味を気づかせるために、指導者と6年生で以下のようなやり取りを行う。  例）サッカーが得意な6年生に  T: Can you play soccer?  S1: Yes, I can.  T: You can kick well. You can run fast!  S1: Thank you.  ・全員でCan you ...? の意味を確認し、本時のめあてを確認する。 | ・1回目 (聞く) →2回目 (口パク) →3回目 (声に出して言う)、の手順で練習させる。  ・チャンツに出てきた動作 (swim / cook / fly / speak English) について、できるかどうかペアでたずね合わせる (4つ全部ではなくいくつかを選択でもよい)。 | 文化探検、フカボリ！、日本探検、ことば探検のうち、1～2つの活動を行う (残った活動は次年度に指導する)。 | ・p.37上部で4つのグループの特徴を確認し、「くるりんグループ」の8つのアルファベットの名前を言いながら空中に書かせる。  ・教科書に書かせる。  ・同様の手順で、p.37の4つのコーナーを指導する。 |
| 3 | めあて できることを友達と伝え合おう。  到達目標  (5～6年共通) できることをたずねたり、伝えたりすることができる。  主な表現 第1～2時で扱った表現すべて | 【8分】挨拶と、p.28 Let’s Chant ①・② | | 【5分】p.30 Let’s Watch | 【13分】p.30 Let’s Listen 1、Let’s Try 1 | 【13分】p.31 Let’s Listen 2、Let’s Try 2 | 【6分】p.33 Your Goal |
|  | ・児童どうしでHow are you? と挨拶させる。  ・チャンツを通して前時までの表現を思い出させる。 | | ・映像を視聴後、誰が何をたずねているのかを確認する (早紀がソフィアにリコーダーを吹けるかたずねている)。  ※第1時にも視聴した映像なので、時間をかけすぎない。  ・本時のめあてを確認する。 | ・紙面の指示に従って各活動を行う。  ・Let’s Listen 1 では、人物名と選択肢の意味と読み方を確認してから問題音声を聞かせる。  ※各動作のジェスチャーをさせながら音読させるとよい。 | ・紙面の指示に従って各活動を行う。  ・Let’s Listen 2では、キーワード (walk / swim / fly / jump) の意味と読み方を確認してから問題音声を聞かせる。  ※各動作のジェスチャーをさせながら音読させるとよい。 | ・Your Goalモデル映像を視聴させ、会話の概要を確認する。  ・次時に「できることカード」を作成するので内容を考えておくようにと予告する。 |
| 4 | めあて おたがいのことをよく知るために、できることを友達と伝え合おう。  到達目標  (5～6年共通) 「できることカード」を使って、自分や相手のできること・できないことを伝え合うことができる。  主な表現 第1～3時で扱った表現すべて | 【5分】挨拶と、p.31またはp.33の Small Talk | 【7分】p.32 Step 2 | 【8分】 p.32 Step 1 | 【8分】p.32 Step 2 | 【10分】p33 Your Goal | 【7分】p.38 Check Your Step 1 のHop |
|  | ・児童どうしでHow are you? と挨拶させる。  ・Can you ...? を使ったSmall Talkを行う。 | ・MPD p.48のローマ字表（ヘボン式）を参考にしながらp.32下部の4線に大文字と小文字で名前を丁寧に書かせる。  ・指導者は、児童が正しく書くことができているか確認する。 | ・Step 1 モデル映像を視聴させ、意味を確認する  ・本時のめあてを確認する。  ・映像を見ながら口パクで練習した後、声に出してブライアンのせりふをすらすら言えるようになるまで練習させる。  ・会話練習映像を視聴し、練習したブライアンのせりふを言わせる。 | ・「できることカード」を作成させる。  ・ペアになり、できることを伝えたりたずねたりする練習をさせる。  ・表現例 (That’s OK. 「気にしないで」) の意味や発音を確認する。 | ・Your Goalモデル映像を視聴させる。  ・会話の概要を確認する。  ・映像を見ながら口パクで練習した後、ブライアン・明菜・七海役に分かれて、英文をすらすら言えるようになるまで練習する。  ・「できることカード」を使って、自分や友達のできること・できないことを伝え合う。  ・時間があれば、「Before / After」や、「Enjoy Communicationのふり返り」を行う。 | 音声を聞き、Unit 1~3の既習表現を使ってどんなことを伝えようとしているのか、大まかな内容を確認する。時間があれば、Stepや Jumpにも取り組ませる。 |

※時間があれば、予備活動や割愛した学習活動を行う。／※グレーで塗られた欄は本単元のゴールとなる言語活動なので割愛しないこと。